



2023年10月11日

各 位

会 社 名 ローツェ株式会社
代表者名 代表取締役社長 藤代 祥之
(コード: 6323・東証プライム)
問合せ先 管 理 部 長 伊勢村 英一
(TEL: 084-960-0001)

第2四半期連結累計期間の連結業績予想と実績値との差異に関するお知らせ

2023年4月11日に公表いたしました2024年2月期第2四半期連結累計期間(2023年3月1日~2023年8月31日)の連結業績予想と本日公表の実績値において差異が生じたので下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 第2四半期連結累計期間業績予想値と実績値との差異

2024年2月期第2四半期連結業績予想値と実績値との差異(2023年3月1日~2023年8月31日)

(単位: 百万円)

	売 上 高	営 業 利 益	経 常 利 益	親会社株主に 帰属する 四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
前 回 予 想 (A)	43,127	10,673	10,643	7,633	円 銭 433 29
実 績 値 (B)	40,992	9,952	13,878	9,835	558 24
増 減 額 (B-A)	△ 2,134	△ 721	3,234	2,201	—
増 減 率 (%)	△4.9	△6.8	30.4	28.8	—
(ご参考)前第2四半期実績 (2023年2月期第2四半期)	45,753	10,932	16,901	12,366	715 61

2. 業績予想と実績の差異理由

2024年2月期第1四半期連結会計期間は、半導体メーカーの設備投資計画の先送り等の影響を受け、売上は低調に推移しました。しかし、第2四半期連結会計期間に入り、主に中国向け及び米国向けにおいて需要が回復基調で推移したことにより、業績は回復してまいりました。第2四半期連結累計期間では売上高及び営業利益は前回予想を下回る結果となりました。

一方、経常利益は為替が期初と比較して円安に推移したことに伴い外貨建債権の為替評価益を計上したことにより、親会社株主に帰属する四半期純利益とともに前回予想を上回る結果となりました。

2024年2月期通期連結業績予想につきましては、為替相場の動向など、事業環境は先行き不透明な状況が継続していることから、2023年4月11日公表の「2023年2月期決算短信〔日本基準〕(連結)」に記載しております予想数値を据え置くことといたします。また、配当予想についても変更はございません。